

調査結果の概要

I 発育状態

1 体格の平均値

平成 23 年度の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における幼児、児童及び生徒の身長、体重及び座高の平均値を年齢別、男女別に見ると次のとおりである。

区 分		男 子			女 子		
		身長	体重	座高	身長	体重	座高
幼稚園	5歳	110.4	18.9	62.0	109.3	18.4	61.2
	6歳	116.3	21.0	64.8	115.8	20.6	64.5
小学校	7歳	122.0	23.6	67.6	121.7	23.3	67.4
	8歳	127.6	26.5	70.0	127.3	26.4	70.0
	9歳	132.9	29.6	72.3	132.9	29.4	72.4
	10歳	138.7	33.6	74.9	139.8	33.0	75.6
	11歳	145.0	37.9	77.4	146.2	38.3	79.2
中学校	12歳	152.2	43.7	81.1	151.5	42.9	82.1
	13歳	159.5	48.5	84.8	154.6	46.8	83.7
	14歳	164.7	53.6	87.9	156.3	49.7	85.0
高等学校	15歳	168.3	58.7	90.1	156.7	51.1	85.2
	16歳	170.1	60.7	91.5	157.8	51.6	85.6
	17歳	171.0	62.2	91.9	157.4	52.3	85.7

(1) 身長 (表 1、図 1、第 2 表、第 3 表)

① 男子

- ・前年度と比べると、10 歳から 12 歳及び 15 歳から 17 歳で増加している。
- ・17 歳は過去最高となった。
- ・全国平均値と比べると、11 歳及び 15 歳で同値、16 歳及び 17 歳で上回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、6 歳、7 歳、10 歳、13 歳及び 14 歳で増加している。
- ・7 歳は過去最高となった。
- ・全国平均値と比べると、6 歳、7 歳及び 16 歳で上回っている。

(2) 体重 (表 1、図 1、第 2 表、第 3 表)

① 男子

- ・前年度と比べると、5 歳、11 歳及び 12 歳で増加している。
- ・全国平均値で比べると、5 歳のみ同値、それ以外の年齢では下回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、5 歳、8 歳、13 歳及び 14 歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、8 歳のみ同値、それ以外の年齢では下回っている。

(3) 座高 (表 1、第 2 表、第 3 表)

① 男子

- ・前年度と比べると、5 歳、6 歳、9 歳、10 歳、12 歳、16 歳及び 17 歳で増加している。
- ・15 歳は平成 20 年度から引き続き過去最高、17 歳も過去最高となった。
- ・全国平均値と比べると、5 歳、10 歳及び 17 歳で同値、16 歳のみ上回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、5 歳、7 歳、11 歳及び 13 歳から 17 歳で増加している。
- ・14 歳は平成 15 年度及び平成 20 年度と並んで、16 歳は平成 18 年度と並んで、17 歳は平成 21 年度と並んで過去最高となった。

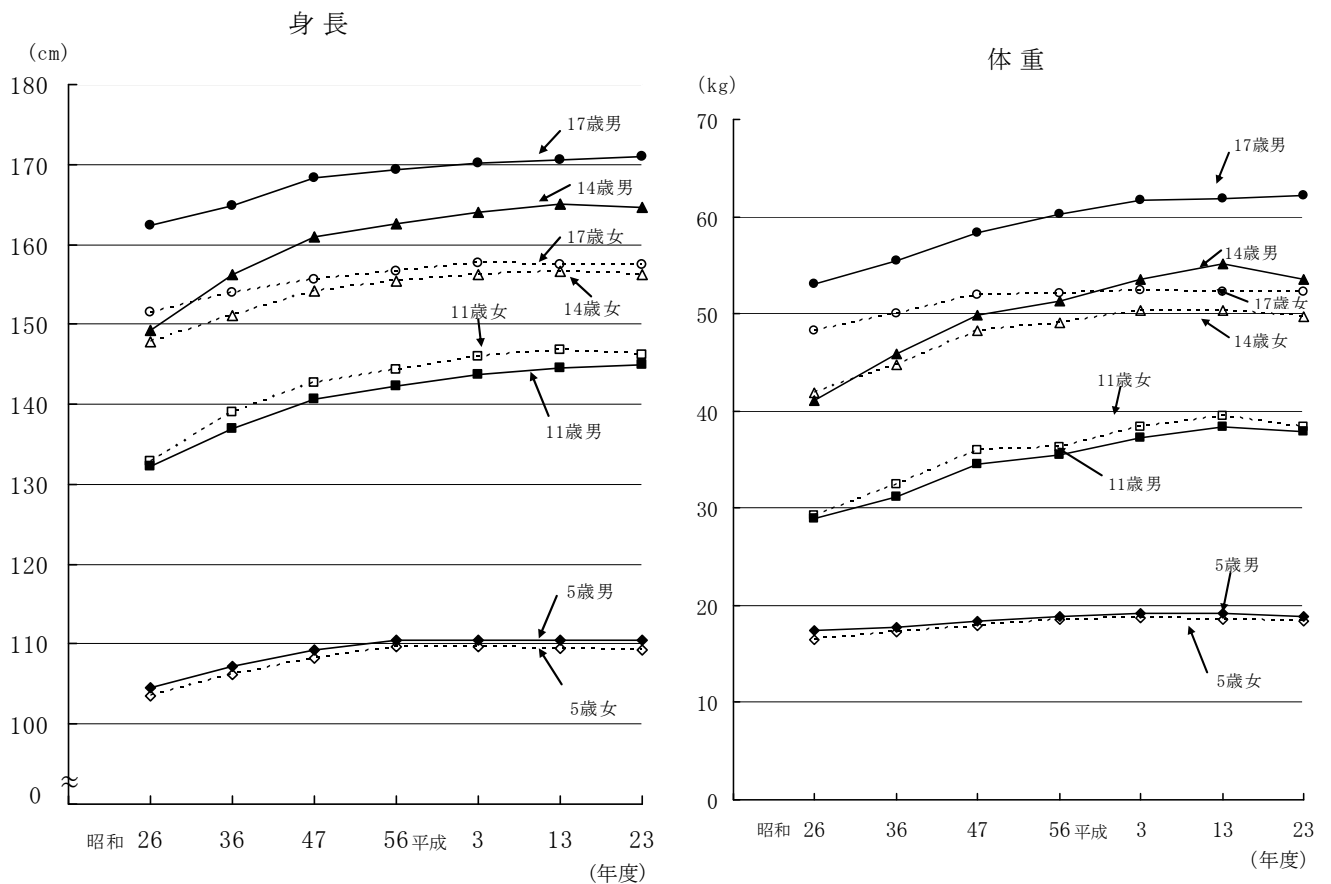
- ・全国平均値と比べると、11歳、12歳及び16歳で同値、6歳から8歳及び14歳で上回っている。

表1 身長・体重・座高の年齢別平均値

区分	年齢	男子						女子						男女差		
		身長 (cm)	年齢間差	体重 (kg)	年齢間差	座高 (cm)	年齢間差	身長 (cm)	年齢間差	体重 (kg)	年齢間差	座高 (cm)	年齢間差	身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)
幼稚園	5歳	110.4	—	18.9		62.0		109.3	—	18.4		61.2		1.1	0.5	0.8
小学校	6歳	116.3	5.9	21.0	2.1	64.8	2.8	115.8	6.5	20.6	2.2	64.5	3.3	0.5	0.4	0.3
	7歳	122.0	5.7	23.6	2.6	67.6	2.8	121.7	5.9	23.3	2.7	67.4	2.9	0.3	0.3	0.2
	8歳	127.6	5.6	26.5	2.9	70.0	2.4	127.3	5.6	26.4	3.1	70.0	2.6	0.3	0.1	0.0
	9歳	132.9	5.3	29.6	3.1	72.3	2.3	132.9	5.6	29.4	3.0	72.4	2.4	0.0	0.2	△0.1
	10歳	138.7	5.8	33.6	4.0	74.9	2.6	139.8	6.9	33.0	3.6	75.6	3.2	△1.1	0.6	△0.7
	11歳	145.0	6.3	37.9	4.3	77.4	2.5	146.2	6.4	38.3	5.3	79.2	3.6	△1.2	△0.4	△1.8
中学校	12歳	152.2	7.2	43.7	5.8	81.1	3.7	151.5	5.3	42.9	4.6	82.1	2.9	0.7	0.8	△1.0
	13歳	159.5	7.3	48.5	4.8	84.8	3.7	154.6	3.1	46.8	3.9	83.7	1.6	4.9	1.7	1.1
	14歳	164.7	5.2	53.6	5.1	87.9	3.1	156.3	1.7	49.7	2.9	85.0	1.3	8.4	3.9	2.9
高等学校	15歳	168.3	3.6	58.7	5.1	90.1	2.2	156.7	0.4	51.1	1.4	85.2	0.2	11.6	7.6	4.9
	16歳	170.1	1.8	60.7	2.0	91.5	1.4	157.8	1.1	51.6	0.5	85.6	0.4	12.3	9.1	5.9
	17歳	171.0	0.9	62.2	1.5	91.9	0.4	157.4	△0.4	52.3	0.7	85.7	0.1	13.6	9.9	6.2

- 注：1 「年齢間差」は、当該年齢の数値から1歳下の数値を引いたものである。
 2 「男女差」は、男子の数値から女子の数値を引いたものである。

図1 身長・体重の平均値の推移

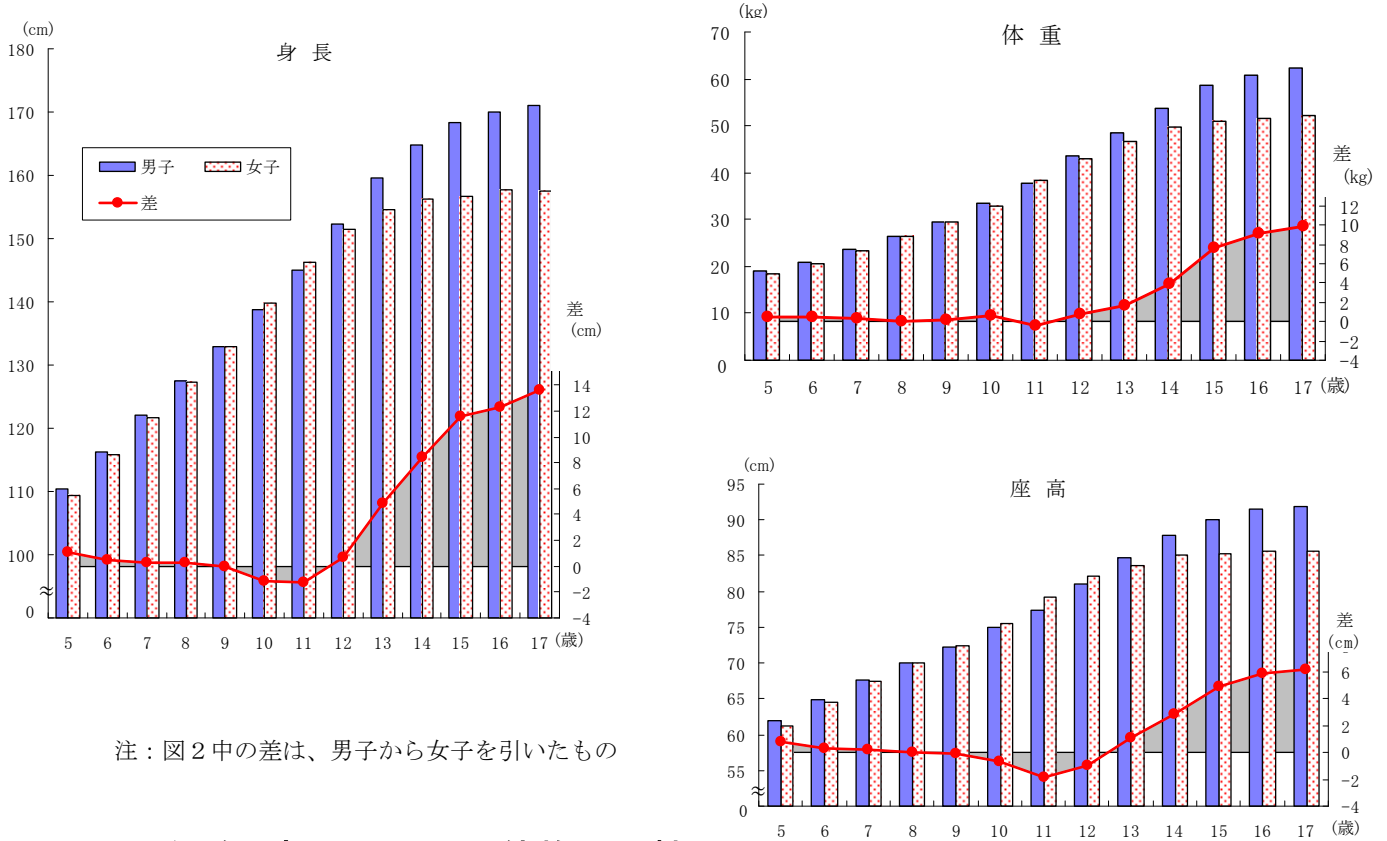


注：昭和46年度は正確な数値が不明なため、昭和47年度の数値を掲載している。

(4) 男女の比較 (表1、図2)

男子と女子を比較すると、身長・体重・座高とも12歳までは大きな差はないが、9歳から12歳は各項目でほぼ女子が男子を上回る。13歳を過ぎると、男子が女子を大きく上回り、17歳でその差は最も大きくなっている。(身長差 13.6 cm・体重差 9.9 kg・座高差 6.2 cm)

図2 年齢別・男女別の平均値



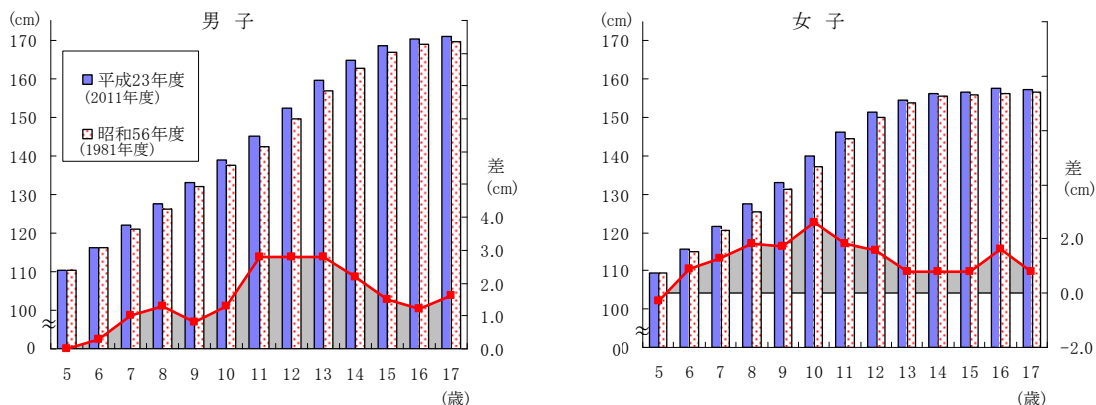
注：図2中の差は、男子から女子を引いたもの

2 30年前 (親世代) との体格の比較

(1) 身長・体重・座高の比較 (図3、図4、図5、第4表)

平成23年度の平均値を30年前の昭和56年度と比較すると、男子は、身長差は11歳から13歳 (2.8cm) で、体重差は12歳 (2.7kg) で、座高差は14歳 (1.8cm) で最も大きな開きを示している。女子は、身長差は10歳 (2.6cm)、体重は11歳 (2.0kg)、座高差は10歳、11歳及び17歳 (1.2cm) で最も大きな開きを示している。

図3 身長の平均値 30年前との比較



注：図3中の差は、平成23年度から昭和56年度を引いたもの (以下図4、図5同じ)

図4 体重の平均値 30年前との比較

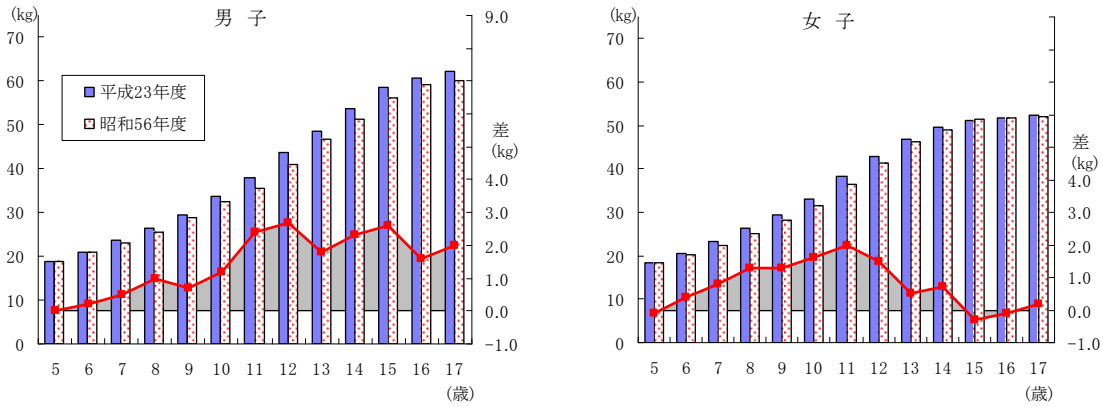
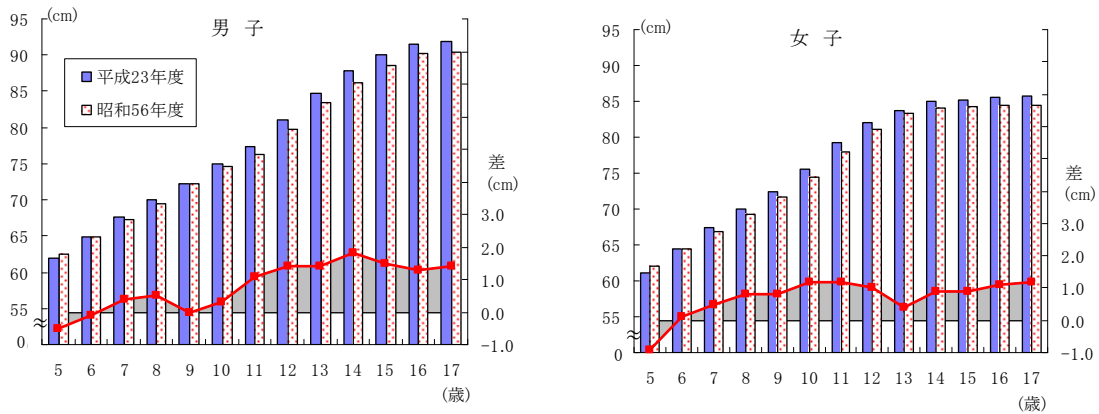


図5 座高の平均値 30年前との比較



(2) 身長に占める足の長さの割合 (表2)

身長に占める足の長さの割合について比較すると、男子は14歳から17歳、女子は11歳、12歳及び14歳から17歳でそれぞれ30年前より割合が小さくなっている。

表2 身長に占める足の長さの割合 30年前との比較

単位：%

区 分	年齢	男 子			女 子		
		平成23年度 (A)	昭和56年度 (B)	差 (A) - (B)	平成23年度 (A)	昭和56年度 (B)	差 (A) - (B)
幼稚園	5歳	43.8	43.4	0.5	44.0	43.3	0.7
	6歳	44.3	44.1	0.2	44.3	44.0	0.3
小学校	7歳	44.6	44.5	0.1	44.6	44.4	0.2
	8歳	45.1	45.0	0.2	45.0	44.9	0.2
	9歳	45.6	45.3	0.3	45.5	45.4	0.1
	10歳	46.0	45.7	0.3	45.9	45.8	0.2
	11歳	46.6	46.3	0.3	45.8	46.0	△ 0.2
中学校	12歳	46.7	46.7	0.1	45.8	45.9	△ 0.1
	13歳	46.8	46.8	0.1	45.9	45.8	0.0
	14歳	46.6	47.0	△ 0.4	45.6	45.9	△ 0.3
高等学校	15歳	46.5	46.9	△ 0.4	45.6	45.9	△ 0.3
	16歳	46.2	46.6	△ 0.4	45.8	45.9	△ 0.1
	17歳	46.3	46.6	△ 0.3	45.6	46.0	△ 0.5

注：1 身長に占める足の長さの割合 = (身長 - 座高) / 身長

2 数値は小数点以下第2位を四捨五入しており、表中の(A)と(B)の差と「差(A) - (B)」の数値が一致しない場合がある。

3 17歳の年間発育量と30年前（親世代）との比較

(1) 身長（図6、表3）

17歳（平成5年度生まれ）の5歳時からの年間発育量をみると、男子は11歳時に、女子は9歳時に最大となっており、最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が2歳早くなっている。

30年前調査（親世代）の17歳（昭和38年度生まれ）と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代より1歳早い11歳時となっており、年間発育量は5歳、7歳、9歳及び11歳の各年齢で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代より1歳早い9歳時となっており、5歳から7歳、9歳、13歳及び15歳の各年齢で親の世代を上回っている。

図6 平成5年度生まれと昭和38年度生まれの者の年間発育量の比較（身長）

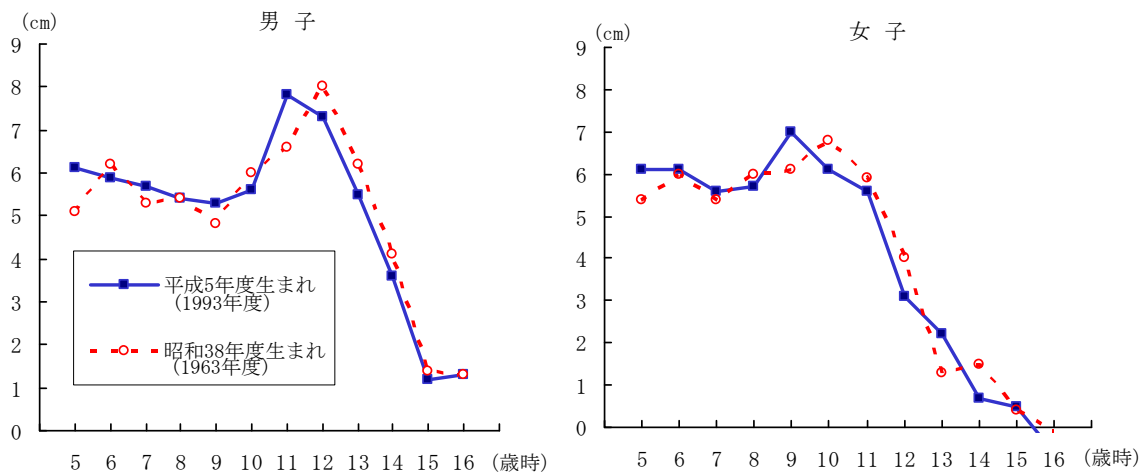


表3 平成5年度生まれと昭和38年度生まれの者の年間発育量の比較（身長）

区分		男 子					女 子				
		平成5年度 生まれ (A)	年 間 発 育 量	昭和38年度 生まれ (B)	年 間 発 育 量	世代間差 (A)-(B)	平成5年度 生まれ (A)	年 間 発 育 量	昭和38年度 生まれ (B)	年 間 発 育 量	世代間差 (A)-(B)
総発育量			60.7		60.4			48.1		48.7	
幼稚園	5歳時	110.3	6.1	109.0	5.1	1.3	109.3	6.1	107.9	5.4	1.4
	6歳時	116.4	5.9	114.1	6.2	2.3	115.4	6.1	113.3	6.0	2.1
小学校	7歳時	122.3	5.7	120.3	5.3	2.0	121.5	5.6	119.3	5.4	2.2
	8歳時	128.0	5.4	125.6	5.4	2.4	127.1	5.7	124.7	6.0	2.4
	9歳時	133.4	5.3	131.0	4.8	2.4	132.8	7.0	130.7	6.1	2.1
	10歳時	138.7	5.6	135.8	6.0	2.9	139.8	6.1	136.8	6.8	3.0
	11歳時	144.3	7.8	141.8	6.6	2.5	145.9	5.6	143.6	5.9	2.3
中学校	12歳時	152.1	7.3	148.4	8.0	3.7	151.5	3.1	149.5	4.0	2.0
	13歳時	159.4	5.5	156.4	6.2	3.0	154.6	2.2	153.5	1.3	1.1
	14歳時	164.9	3.6	162.6	4.1	2.3	156.8	0.7	154.8	1.5	2.0
高等学校	15歳時	168.5	1.2	166.7	1.4	1.8	157.5	0.5	156.3	0.4	1.2
	16歳時	169.7	1.3	168.1	1.3	1.6	158.0	△0.6	156.7	△0.1	1.3
	17歳時	171.0	-	169.4	-	1.6	157.4	-	156.6	-	0.8

注：1 年間発育量とは、例えば平成5年度生まれの「5歳時」の身長の年間発育量を算出する場合、平成12年度調査の6歳の者の身長平均値から平成11年度調査の5歳の者の身長平均値を引いたものである。表4について同じ。

2 網掛けの部分は、最大の年間発育量及び世代間差を示す。表4について同じ。

(2) 体重 (図7、表4)

17歳(平成5年度生まれ)の5歳時からの年間発育量をみると、男子は11歳時に、女子は10歳時に最大となっており、最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が1歳早くなっている。

30年前調査(親世代)の17歳(昭和38年度生まれ)と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代より2歳早い11歳時となっており、5歳から11歳及び15歳の各年齢で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代より1歳早い10歳時となっており、5歳、7歳、10歳、13歳及び15歳の各年齢で親の世代を上回っている。

図7 平成5年度生まれと昭和38年度生まれの者の年間発育量の比較(体重)

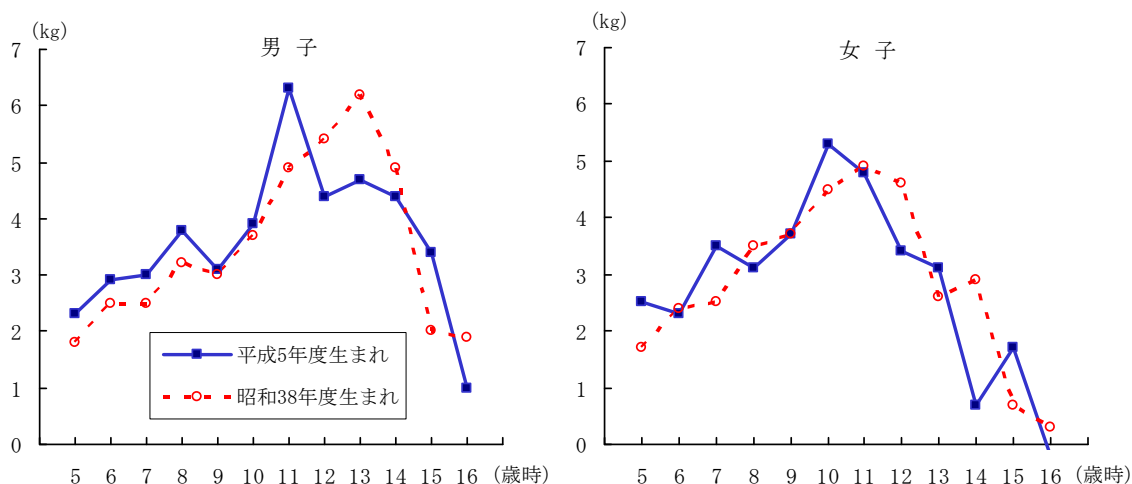


表4 平成5年度生まれと昭和38年度生まれの者の年間発育量の比較(体重)

単位: kg

区分	男子					女子					
	平成5年度生まれ(A)	年間発育量	昭和38年度生まれ(B)	年間発育量	世代間差(A)-(B)	平成5年度生まれ(A)	年間発育量	昭和38年度生まれ(B)	年間発育量	世代間差(A)-(B)	
総発育量		43.2		42.0			33.9		34.3		
幼稚園	5歳時	19.0	2.3	18.2	1.8	0.8	18.4	2.5	17.8	1.7	0.6
小学校	6歳時	21.3	2.9	20.0	2.5	1.3	20.9	2.3	19.5	2.4	1.4
	7歳時	24.2	3.0	22.5	2.5	1.7	23.2	3.5	21.9	2.5	1.3
	8歳時	27.2	3.8	25.0	3.2	2.2	26.7	3.1	24.4	3.5	2.3
	9歳時	31.0	3.1	28.2	3.0	2.8	29.8	3.7	27.9	3.7	1.9
	10歳時	34.1	3.9	31.2	3.7	2.9	33.5	5.3	31.6	4.5	1.9
中学校	11歳時	38.0	6.3	34.9	4.9	3.1	38.8	4.8	36.1	4.9	2.7
	12歳時	44.3	4.4	39.8	5.4	4.5	43.6	3.4	41.0	4.6	2.6
	13歳時	48.7	4.7	45.2	6.2	3.5	47.0	3.1	45.6	2.6	1.4
高等学校	14歳時	53.4	4.4	51.4	4.9	2.0	50.1	0.7	48.2	2.9	1.9
	15歳時	57.8	3.4	56.3	2.0	1.5	50.8	1.7	51.1	0.7	△0.3
	16歳時	61.2	1.0	58.3	1.9	2.9	52.5	△0.2	51.8	0.3	0.7
	17歳時	62.2	-	60.2	-	2.0	52.3	-	52.1	-	0.2

Ⅱ 健康状態 (表 5、第 5 表)

学校種類別に疾病・異常の被患率等をみると、「むし歯（う歯）」の割合がすべての学校種類で高くなっている。また、「鼻・副鼻腔疾患」の被患率が、小学校、中学校及び高等学校で他の疾病に比べ高くなっている。

表 5 学校種類別 疾病・異常の被患率等

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
60%以上					
50%以上～60%未満		むし歯（う歯）	裸眼視力 1.0 未満の者	むし歯（う歯）	
40～50	むし歯（う歯）		むし歯（う歯）		
30～40					
20～30		裸眼視力 1.0 未満の者			
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10		歯垢の状態 歯肉の状態		
	6～8			歯肉の状態 鼻・副鼻腔疾患 歯垢の状態	
	4～6	眼の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 歯列・咬合 歯・口腔のその他の疾病・異常 ぜん息	眼の疾病・異常 歯列・咬合 アトピー性皮膚炎		
	2～4	歯列・咬合 歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 ぜん息	歯垢の状態 歯肉の状態 耳疾患 心電図異常	歯・口腔のその他の疾病・異常 耳疾患 心電図異常 ぜん息 蛋白検出の者	
	1～2	歯肉の状態 眼の疾病・異常 口腔咽喉頭疾患・異常 耳疾患 その他の皮膚疾患	口腔咽喉頭疾患・異常 栄養状態 その他の疾病・異常	その他の疾病・異常 栄養状態 口腔咽喉頭疾患・異常	ぜん息 栄養状態 耳疾患 顎関節 その他の疾病・異常
0.1～1	0.5～1	蛋白検出の者 歯垢の状態 鼻・副鼻腔疾患 その他の疾病・異常	難聴 心臓の疾病・異常 蛋白検出の者	心臓の疾病・異常 難聴 顎関節	歯・口腔のその他の疾病・異常 せき柱・胸郭
	0.1～0.5	言語障害 顎関節 栄養状態 せき柱・胸郭 心臓の疾病・異常 腎臓疾患	その他の皮膚疾患 顎関節 腎臓疾患 せき柱・胸郭 言語障害 寄生虫卵保有者	せき柱・胸郭 その他の皮膚疾患 腎臓疾患 尿糖検出の者 言語障害	心臓の疾病・異常 難聴 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 腎臓疾患 口腔咽喉頭疾患・異常
0.1%未満		尿糖検出の者		言語障害	

- 注：1 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
- 2 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。
- 3 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
- 4 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
- 5 幼稚園及び高等学校の「裸眼視力 1.0 未満の者」については、疾病・異常被患率等の標準誤差が 5 以上、受検者数が 100 人（5 歳は 50 人）未満または回答校が 1 校以下のため統計数値を公表しない。

Ⅲ 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

1 肥満傾向児の出現率 (表 6)

(1) 男子

年齢別にみると、16歳が10.46%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、11歳及び13歳で上回っている。

(2) 女子

年齢別にみると、15歳が8.80%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、5歳、8歳、9歳、14歳及び15歳で上回っている。

2 痩身傾向児の出現率 (表 6)

(1) 男子

年齢別にみると、11歳が3.62%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、5歳、6歳、9歳、11歳及び13歳から15歳で上回っている。

(2) 女子

年齢別にみると、12歳が5.14%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、5歳、6歳、10歳及び12歳から17歳で上回っている。

表 6 年齢別 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

単位:%

区 分		男子				女子			
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		愛知県	全国	愛知県	全国	愛知県	全国	愛知県	全国
幼稚園	5歳	1.98	2.14	0.64	0.33	2.56	2.40	0.58	0.40
小学校	6歳	2.46	3.75	0.57	0.40	2.71	3.93	0.79	0.65
	7歳	3.89	5.18	0.30	0.54	3.83	4.86	0.20	0.55
	8歳	6.23	6.70	0.93	1.17	6.18	5.94	0.52	1.03
	9歳	6.80	8.39	1.75	1.50	6.90	6.82	1.41	1.96
	10歳	8.64	9.42	1.85	2.69	3.95	7.71	3.32	2.64
中学校	11歳	9.72	9.46	3.62	3.05	7.92	8.12	2.86	2.98
	12歳	9.67	10.25	2.19	2.43	7.59	8.51	5.14	4.32
	13歳	9.29	9.02	1.77	1.55	6.33	7.49	4.48	3.91
高等学校	14歳	7.50	8.48	1.99	1.73	8.00	7.43	2.66	2.61
	15歳	9.55	11.99	3.06	2.60	8.80	8.26	3.57	2.65
	16歳	10.46	11.16	1.32	1.82	6.30	7.33	3.12	2.22
	17歳	9.98	11.54	1.49	1.54	7.13	7.76	2.44	1.89

注：肥満(痩身)傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上(-20%以下)の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)